北より拓くキャリア教育

秋田県立大館国際情報学院高等学校　キャリア教育通信【第９号】　　H29.1.17

【平成29年度大学入試センター試験：3年生】

本番前日のセンター試験激励会

1月14日（土）、15日（日）の2日間、県北地区は本校を会場に大学入試センター試験が行われました。今年は試験当日の悪天候のために、全国で試験時間の繰り下げ等が多数ありました。本校会場も交通機関の運行等が心配されましたが、本校3年生105名無事に試験を終えています。

翌日の月曜日に自己採点を終え、これからの一週間で河合塾や駿台・ベネッセ各社の全国集計の結果を受けながら出願検討を行い、三者面談等を経て、来週から一気に志望校への出願となります。受験生として精神的に苦しい毎日が続きますが、ここでの経験はこれからの人生において大きな自信となるはずです。体調管理をしっかりとし、自分自身の進路実現を目指していきましょう。

国公立大学　個別学力検査出願　1/23～2/1

前期日程試験 2/25～　　中期日程試験 3/8～　　後期日程試験 3/12～

【韓国光明高校来校：国際交流事業】

1月15日（日）に韓国姉妹校である光明高校から引率3名、生徒15名が、20日（金）までの予定で本校を訪れています。本校では夏に本校生徒が光明高校を訪れ、冬に光明高校を迎えるかたちで交流を続けています。今回は、授業のほかにスキー体験、市内散策、茶道体験などが予定されています。

国際交流を通して、お互いの理解を深め、自分自身の視野を広げていきたいですね。

16日（月）　中高合同歓迎会

（創刊大正7年）　（昭和20年12月30日第3種郵便物認可）

「思い出をつくりたい」

大館国際に韓国から姉妹校

光明高から18人、20日まで

大館国際情報学院（長岐祐輔校長）に、姉妹校提携を結ぶ韓国・光明高校の生徒と教職員18人による交流団が訪問。歓迎会が開かれ、生徒が「たくさんの思い出をつくりたい」としている。16日に学校で歓迎

歓迎会で自己紹介する光明高校の生徒（大館国際情報学院）

拙い日本語で抱負を語った。20日まで国際情報の生徒宅にホームステイし、授業への参加やスキー体験などが予定されている。

光明の1年生15人と教職員3人の一行は15日に大館入り。滞在中、生徒たちは昨年7月に韓国を訪問した国際情報の高校生宅にホームステイする。

国際情報中高の全校生徒746人が拍手で歓迎。長岐校長は「より多くの生徒と交流を楽しみ、友好の絆を深めてほしい。グローバル化が進む中、互いの文化を理解し合うことは重要だ」と歓迎。昨年韓国を訪問した木村雪花さん（高校2年）は「この交流を通して皆さんが日本についてたくさんのことを知り、学び、有意義な時間になると思う」と韓国語で呼び掛けた。

光明生徒が一人一人自己紹介。代表して金慧鎭さんは「昨年の訪問時は楽しい時間を過ごし、とてもすてきな思い出をつくることができた。今度は5泊6日、皆さんといろいろな思い出をつくりたい」と日本語で抱負。日本を何度か訪れたことがあるという金さんは「雪景色を見て、テンションがアップした。韓国と生活や文化がどう違うのか、体験するのを楽しみにしている」と話した。

この日は中高の授業や部活動に参加し、路線バスで市内に買い物などに出掛けた。滞在中はスキーや茶道なども体験する予定。

光明高は光明市にある公立の進学校で、国際情報と23年度に姉妹提携を結んだ。国際情報は毎年夏に光明を訪問、冬に光明生徒を受け入れている。

17日（火）　北鹿新聞の記事